

# 母 校

## “青き時代の想い”

前回の会報(12号)では、『いつくしき学び舎』今昔消えてゆく「階段校舎」に胸を熱くされた方もいらっしゃる。今回は、昔ながらの面影を残す母校散策におつきあい

建っています。ご存知でしたか？これは母校が六高の跡地に建っていることから、旧制第六高等学校の歴史をも包み込んだ数ではありませんが、それだけ長い歴史に培われた地に立っている証でもあります。

まず最初に目に入るのは前庭ロータリーの**校歌の碑**です。これは平成16年秋にはじまった校舎新築工事に伴いここに移転されたものです。歴史的人物の碑もあります。郭沫若氏の碑で、氏が六高に在籍していた縁で建てられた



弓道場横、梅檀の樹の下には旧制六高弓道部の記念碑



この朝日高の百三十有余年の歴史の流れの一時期、確かに自分自身がここに居た。笑い、泣き、悩み、学び、遊

び……ながら高校時代を過ごした自分が居た。散策しながらそんな想いを強くしました。皆さんも母校内を散策してみてください。記憶の内に埋もれていた青き時代の想い出にめぐり会えるかも知れません。

があります。連続4回を含む通算6回の全国制覇の偉業を称えて創部80年の昭和63年に新しく建てられています。そのほかにも幾つもの銅像や記念樹、さらに**柔道場**の壁には昭和9年の大洪水の跡も残っています。また、散策していると風変わりなオブジェと見紛うものに出合います。これは**サーキットトレーニング施設**で体力つくりのためのものだったとのことです。



みなさん、散策してみてください。記憶の内に埋もれていた青き時代の想い出にめぐり会えるかも知れません。

